

教 育 委 員 会 会 議 次 第

令和3年4月8日(木) 15:00
小倉北区役所 西棟7階 710会議室

1 開 会

2 案 件

(1) 議案

議案第1号「北九州市生涯学習推進計画《“学びと活動の環”推進プラン》(令和3年度～令和7年度)(成案)について」

(市民文化スポーツ局 生涯学習課長)

議案第2号「北九州市社会教育委員の委嘱について」

(市民文化スポーツ局 生涯学習課長)

議案第3号「北九州市学校給食審議会委員の委嘱について」

(学校保健課長)

(2) その他報告

その他報告①「陳情第5号『小森江西小学校・小森江東小学校統合準備委員会における校舎位置の決定に関する調査について』」

(学校規模適正化担当課長)

その他報告②「陳情第6号『無線LANとタブレットの導入における児童生徒への電磁波対策について』」

(教育情報化推進課長)

3 閉 会

教 育 委 員 会 （ 定 例 会 ）

- 1 開催年月日 令和3年4月8日（木）
- 2 開催時間 15:00～16:50
- 3 開催場所 小倉北区役所 西棟7階 710会議室
- 4 出席者 (教育長) 田島 裕美
(教育委員) シヤルマ 直美 平野 氏貞 大坪 靖直
津田 惠次郎 竹本 真実
- 5 事務局職員 教育次長 古小路 忠生
総務部長 小杉 繁樹
教職員部長 高松 淳子
学校支援部長 春日 伸一
学校教育部長 高橋 英樹
次世代教育推進部長 金子 二康
総務課長 田中 真徳
企画調整課長 浜崎 善則
学校規模適正化担当課長 松本 聡
学校保健課長 角野 純二
教育情報化推進課長 赤瀬 正信
市民文化スポーツ局 生涯学習課長 佐藤 健治
- 6 書 記 総務課庶務係長 増田 真二
総 務 課 事柴 佑斗
- 7 会議の次第 別紙のとおり

教育委員会(定例会)会議録(令和3年4月8日)

1 開 会

15:00 田島教育長が開会を宣言

2 会議録署名委員の指名

田島教育長が会議録署名委員に、大坪委員と津田委員を指名。

以下の案件を非公開にすることを議決

- ・その他報告①「陳情第5号「小森江西小学校・小森江東小学校統合準備委員会における校舎位置の決定に関する調査について」
- ・その他報告②「陳情第6号「無線LANとタブレットの導入における児童生徒への電磁波対策について」

3 案 件

(1) 公開案件

議案第1号「北九州市生涯学習推進計画《“学びと活動の環”推進プラン》(令和3年度～令和7年度)(成案)について」

本議案の提案理由を市民文化スポーツ局生涯学習課長が説明。

[提案理由要旨]

「次期生涯学習推進計画」について、新たに策定するもの。

竹本委員/計画の68ページにある「学んだ成果を活かす仕組み」という点について、1点伺う。

学んだ成果を地域社会で活かす仕組みとしての、具体的な成功事例などがあれば教えていただきたい。

生涯学習課長/学んだ成果を活動に活かすために「学び」と「活動」の循環が重要であり、この計画の大きな目標としている。

その中で、学んだ成果を活動につなぐためのマッチングが必要であり、行政としてコーディネートするような形態が大切だと思っている。

例えば、各市民センターには、様々な講座の補助を行う「生涯学習推進コーディネーター」という地域のボランティアの方がいるが、そういった方から講座を受講している方々に「いろいろな地域活動をやってみませんか」とお声掛けするようなことである。

また、子育てサポーターも、各区役所などで研修を行い、地域で活動していただくことで、学んだ成果を活動につなげる取り組みも行っている。

地域のボランティアだけでなく、福祉のボランティアなど、様々なボランティアの研修を受けた方を、実際の活動につなげていくといった後押しを行っている。

シャルマ委員/概要版20ページの意見にあるように、若い世代への周知がなかなかうまくできていないように見受けられる。若い世代、特に大学生がたくさん集まり住んでいるまちでは、もちろん大学の中で勉強することもあると思うが、実際に住んで

いるまちだからこそ交流できたり、学びが広がったり、視野が広がるような場があるのではないかと思う。

そういったように、地域の方たちと交流し、卒業したあとも「北九州市に住んでみたい」と思えるようなまちにしていきたいと思っている。

そのため、このような若い世代の意見も積極的に取り入れ、活かしていきたい。

生涯学習課長／今回のパブリックコメントの約6割は、20代の方からの意見である。

生涯学習に携わっている方は、比較的高齢の方が多く、若い方の意見も聞きたいという声があったため、大学にも協力をお願いし、若い方の意見をいただいた結果であると思っている。

今までは、主に紙媒体により情報提供してきたが、インターネットやSNSなど、より若者に情報が届くような方法で、展開していきたい。

津田委員／生涯学習について、一般市民の認知度を上げ、パブリックコメントの中で出てきた大学生の意見を反映させていくためには、今後どのような広報戦略が必要と考えているのか。

生涯学習課長／成人している若い世代の方は、生涯学習のために割く時間がなく、浸透するにはなかなか難しい世代だと思っている。先ほどのパブリックコメントの意見にも「意欲はあるが、なかなか意図が見出せない」といった方もいる。

まずは、情報提供が大切と考えるが、若い方に「どうアプローチしていくのか」という点では、なかなか悩ましいところがある。

そのため、生涯学習を自主的に行う若い世代に直接、情報提供し、すぐに結果につながるという点においては、これから研究が必要ではないかと考える。しかし、その下の世代となる学生は、学校を通すことで情報提供がより簡易にできるのではないかと考えている。特に、大学生ともなると、生涯学習のテーマとして地域の方々も交えて、コラボレーションすることもできるのではないかと考えており、同時にそういったことも必要である。

具体的な取組みについては、今後研究していくこととなるが、そのような視点を持って取り組んでまいりたい。

平野委員／「生涯学習とは何なのか」ということをパンフレットなどで紹介していると思うが、世代によって見方や興味関心が違うので、これを幅広い世代に認知してもらおうということにおいては、大変苦労されているのではないかと思う。

1つのアイデアなのだが、どうしても「生涯学習」という名称だと堅いイメージがあるので、この名称自体を変えていくなど、「様々な層にどう伝えれば馴染むのか」という点を考えていくことも、今後の課題として必要ではないかと思う。

概要版の13ページに、「もう少し上を目指してはどうか」という意見が出ているが、「現状維持を前年度以上に変えた」という点では、一步前進だと思うが、できればもう少し、具体的な数値目標を示せないのか、引き続き検討していきたい。「市民へのわかりやすさ」という点では、数値化することが一番理解を得やすいのではないかと思う。

生涯学習課長／今回の計画の名称については、「北九州市生涯学習推進計画」という正式名称から“学びと活動の環”というものに変えているのだが、今回の「市民に分かりやすく」という点での変更点である。次の計画では、例えば、もう少しキャッチーな名称に変えるなど検討していきたい。

原 案 可 決

議案第2号「北九州市社会教育委員の委嘱について」

本議案の提案理由を市民文化スポーツ局生涯学習課長が説明。

[提案理由要旨]

北九州市社会教育委員について、委員の辞任に伴い、新たに後任の委員を委嘱するもの。

平野委員／今回、委員が2人代わったということであるが、例えば、「前任者は、任期が残っている期間は継続する」ということはできなかったのか。

生涯学習課長／今回の委員の変更は、市議会議員から選出することとしている。旧委員のうち、先に行われた市議会議員選挙にて、1名落選したため、変更したものである。

また、残りの1名についてだが、教育委員会を所管している教育文化委員会から1名選出する必要があり、市議会議員選挙後に教育文化委員会の構成員も変更となったため、それに伴い、結果2名ともが変更する形となったものである。

原 案 可 決

議案第3号「北九州市学校給食審議会委員の委嘱について」

本議案の提案理由を学校保健課長が説明。

[提案理由要旨]

北九州市学校給食審議会委員について、委員の辞任に伴い、新たに後任の委員を委嘱するもの。

原 案 可 決

(2) 非公開案件

その他報告①「陳情第5号「小森江西小学校・小森江東小学校統合準備委員会における校舎位置の決定に関する調査について」

学校規模適正化担当課長が報告。

[報告要旨]以下の項目について報告。

- ・陳情内容
- ・処理方針 等

報 告 終 了

その他報告②「陳情第6号「無線LANとタブレットの導入における児童生徒への電磁波対策について」

教育情報化推進課長が報告。

[報告要旨]以下の項目について報告。

- ・陳情内容
- ・処理方針 等

報 告 終 了

4 閉 会

16:50 田島教育長が閉会を宣言